

婦人を誘拐して 一週間も監禁す

鹿島村の長瀬謙が

東京で探偵もごきの悪業

(東京通信) 近頃珍しい探偵もごきの婦人誘拐事件が愛宕署管内に起つた、去月廿七日午後九時ごろ芝區島森一五林作長女久谷夏江(三三)は友達と同區愛宕町二の四古谷静江から

用事があるから来て呉れと自動車で迎ひに来たのでそれに乗つて出たまゝ行方不明になつた

そこで家人は愛宕署に届出ると共に八方に手分けして探したが杳として判らなかつた、所が一週間後の去る三日午前十時夏江から手紙が来た、それによるとある男の爲めに箱根強羅の紅葉館に監禁されてゐるからすぐ連れに来てくれとの文面なので家人は驚き愛宕署員と共に箱根に急行連れ戻した

夏江の

話では、静江の迎ひで自動車に乗つて愛宕町四の三先にさしかると突然二十七八歳大学生風の男が自動車のストップを命じ車内に乗り込み有無を云はせず二子多摩川の待合鍋屋に連れ込み、同夜は監禁翌廿八日再び

自動車にて箱根まで行き紅葉館に監禁以來一週間外へ出ると殺すぞと脅迫しながら暴行を加へてゐたものであるが、三日朝件の男は旅館へ親類へ金を取りに行くと出て行つたので夏江は其隙に前記の手紙を送つたものであると、愛宕署では早速

箱根及 び各停車場に張り込んで居た所五日朝新橋驛から小田原まで行く男があるのを捕へて見ると前記の犯行を自白した、石城郡鹿島村七矢田前科一犯長瀬謙(三三)で餘罪ある見込で取調中

天候不良で 聯合演習延期

来る十四日に

既報中青年訓練所を中心として平商兵事班、在郷軍人分會、老兵會、青年團合同聯合演習會は明七日午前八時から行はれる筈の處天候不良の爲め次週日曜即ち本月十四日に延期する事となつた

五十鈴觀覽 輸送船には

築港棧橋で

本縣及茨城縣の海軍簡閱點呼を行ふため小名濱に入港する二等巡洋艦五十鈴(五五七〇噸)は昨報の如く十五日午後六時入港十六日十七日福島縣十九日二十日二十一日茨城縣の各點呼を午

荒川氏の態度公明

佐々木氏落選問題解決

這般の平町會議員選舉に當り請負業組合を代表して起つた佐々木健一郎氏が落選したのは運動員であつた長橋町同業荒川銀治氏が裏切つた爲めである等と

吹聴する 者があつた爲め組合内部に紛擾を醸すに至つたが其後時日の経過と共に荒川氏の態度の公明正大な事が確然と判明するに至つた結果兩者間の氣まづさも一掃される事となつたが一方其當時東北日日新聞が荒川氏の名譽を傷けるが如き記事を

は是非曲直を決せねばならぬと憤慨し永野辯護士を告訴代理人として同社署名人を相手取り平檢事局に提起した名譽毀損の告訴事件も調停者の奔走に依り同社が荒川氏に陳謝の意を表した爲め此程取下げを爲すに至り總べて圓滿に解決を告ぐる事となつた

臨海學校

平第一校よて

平町平第一小學校では来る

前八時より正午まで行ひ海軍思想普及のため連日正午過ぎより午後五時半頃まで一般艦内見學を許す事に成つてゐる、尙小名濱町では十六日午後七時より海岸パークで同艦乗員の歓迎會を催し當夜同艦軍樂隊の演

驛前大通りに 柳と櫻を植樹

今秋から着手する

平町役場では町の美觀を添へるため御大典記念事業として街路の植樹を計畫し、さきの町會で議決してあつたので町當局が實行方法を考案中だつたが今秋に驛前の大通りから着手し漸次全町におよぼすことになつた、植樹の種類は前回の失敗に鑑みてなるべく柳と櫻の大本を植えることに決定した

共同の除草

下小川組合で

石城郡下小川村農事實行組合では来る十四日から十七日まで三日間に亘り同村の水田全部に亘り共同除草をなすこととなつた



いまが漬け時 梅干のつけ方

熟したる梅實一斗、食鹽三升

舞踊と獨唱

白銀青年團主催

平町白銀青年分團主催にて来る十九廿の兩日有聲座に於て東京プリンセスレヴュー團の公演を行ふ事になつたがソプラノは木下千代子、テノールは岩井敏郎、アルト富士みの子にて舞踊には日活専屬のダンサー渡邊貴美

紹介所持設

坑夫の素質改善

常務各炭礦の從來の坑夫採用方法は大概募集員の手に依つて居たが一般に性格が粗悪か或は勤務怠慢の弊が

出炭制限は

今後も繼續

定する筈である

常盤地方に七大炭礦では炭價維持のため出炭制限をなしてゐたがその結果は頗る有益で今後は繼續して出炭制限を行ふべく来る八月十一日石城郡湯本町七大炭礦主會を開催して繼續に種々協議するが現在における各礦の立場は何れも經營難に苦しんでゐることであるから何等異議なく出炭制限は決定するものと見られてゐる

石城夏秋蠶

掃立約二割増

石城地方の夏蠶は十日頃から秋蠶は来る八月一日頃からそれ、掃立をなすが昨年の夏秋蠶掃立數二萬二千四百枚收購九萬五千九百八十三貫に對し約二割の掃立増加を見る豫想である、これ等は本年の春蠶收購約二割五分を減じ繭價が昨年より平均一圓の高値となつた關係から農家の夏秋蠶に對する意氣込みが旺盛になつた爲であると觀られてゐるのをせ、それより日光の當らぬ所に置き十五六日目に取出して雨戸の上に清潔な竹の簀を廣げその上にならべて太陽に乾します



明日の天気

南西の風
晴れ間を
見するも
小雨模様